

作成日 2025年1月10日

「周産期母子医療センターネットワークの構築およびハイリスク児のアウトカム分析」への 情報提供について

当施設は、「周産期母子医療センターネットワークデータベース」事業に参加しております (<http://nponrn.umin.jp/index.html>)。この事業は、一般社団法人日本新生児成育医学会等の援助により、認定 NPO 法人新生児臨床研究ネットワークが運営しております。

この周産期母子医療センターネットワークデータベース事業は、収集したデータを分析することで、さらなる母子医療の向上を目的としています。わが国の母子医療レベルは世界でトップクラスにありますが、今後さらに改善すべき点は数多くあります。そこで、今後適切な改善策を講じるためにも、このようなネットワークデータベースの情報が重要となります。

情報を提供する対象者は、当院に入院された在胎期間 32 週未満の早産児または出生体重1500g以下の低出生体重児となります。

提供先は、本研究のデータセンターである大阪府立母子医療センター内の NPO 法人新生児臨床研究ネットワーク（管理責任者 平野 慎也）となります。提供される情報は、分娩前の母体の状態（在胎週数や感染症の有無など）と出生後の新生児の状態（出生体重、合併症、治療内容など）です。なお、情報の詳細は、事務局のホームページで確認できます

(<http://plaza.umin.ac.jp/nrndata/>)。

情報の登録は、WEB ページまたは紙媒体で行われますが、新生児やご家族の個人的な事柄（氏名、住所等のプライバシー情報）に関する個人情報は一切含まれず、全て番号（識別番号）で登録されます。したがって、提供された情報の個人が特定されることはありません。ただし、退院後の成長状態を記録する際に、すでに病院を移動しておられる場合には、移動された病院に、お子様の登録番号をお知らせして、入院された病院と同様に新生児期から継続して経過を知ることができるようにします。研究期間は、2030年3月31日までを予定しています。

また、わが国の他のデータベースとデータを突合してさらに詳細な情報を収集する、あるいは他外国のデータベースと集計結果の比較をすることもあります。そして、集計結果は、医学雑誌、研究会・学会等で発表されることがありますが、この場合も個人が特定されることはありません。したがって、今回収集された情報は、今後の母子医療の向上のための目的以外には決して使用されることはありません。

なお、今回の情報提供を中止する場合、あるいはご質問がある場合には、遠慮なく下記担当者にお問い合わせ下さい。

問い合わせ先

総合周産期母子医療センター新生児集中治療部門 病院教授 内田優美子

奈良県立医科大学附属病院 電話：0744-22-3051